



## 星の杜小学校 校章

作者：立志哲洋



デザインの意図  
星の杜をイメージした校章です。3本の木で三校のと統合をあらわし、すくすく育つ姿や輝く星を表現しました。

## 星の杜小学校 校歌

作詞 吉田朋美  
作曲 高原 兄

広がる空に抱かれて 紡いだ命 今ここに  
私たちに出来る事を 探してみよう  
手を繋ぎ 微笑んで 光の環を広げよう  
星の杜小学校 見上げた空に輝くは  
星の杜小学校 ふるさとを照らす光になる

幾重に重なる立山 美しい白のその先  
私たちを映し出した 未来がある  
手を繋ぎ 信じ合い 愛の環を広げよう  
星の杜小学校 力強く生きてゆく  
星の杜小学校 あしたを照らす光になる

## 施設概要

|              |                                    |
|--------------|------------------------------------|
| 所在地          | 魚津市住吉 203 番地                       |
| 敷地面積         | 13,849.20㎡                         |
| 発注者          | 魚津市                                |
| 設計監理         | 東畑建築事務所<br>鈴木一級建築士事務所              |
| 防耐火 / 構造設計協力 | 桜設計集団一級建築士事務所                      |
| ワークショップ協力    | 福井大学 西本雅人研究室                       |
| 施工（建築）       | 山形建鐵・東城・朝野工業 JV                    |
| 施工（電気）       | 北陸電気工事                             |
| 施工（空調）       | 畠山工業                               |
| 施工（給排水衛生）    | 寺崎設備工業所                            |
| 木材調達         | うおづ産木材調達 JV<br>(新川森林組合、尾谷林業、梅田製作所) |

|             |                 |
|-------------|-----------------|
| 校舎棟（南A・B、北） |                 |
| 構造規模        | 木造3階建           |
| 建築面積        | 2058.22㎡        |
| 延床面積        | 4419.98㎡        |
| 工期          | 2017年9月～2019年2月 |

|        |                       |
|--------|-----------------------|
| 校舎棟（西） |                       |
| 構造規模   | 木造平屋建                 |
| 建築面積   | 494.49㎡               |
| 延床面積   | 371.33㎡               |
| 工期     | 2018年12月～2019年11月（予定） |

|          |              |
|----------|--------------|
| 体育館棟（既存） |              |
| 構造規模     | 鉄筋コンクリート造平屋建 |
| 建築面積     | 734.68㎡      |
| 延床面積     | 754.62㎡      |

|       |                  |
|-------|------------------|
| グラウンド |                  |
| 整備面積  | 5,500㎡           |
| 表土工法  | 透水性保湿型土系舗装       |
| 主な設備  | 150mトラック、100m直走路 |

# 魚津市立星の杜小学校

星の杜小学校は、文部科学省「木の学校づくり先導事業」による支援を受けた全国初のオール木造3階建て小学校です。建設には多くの魚津市産の木材が使われており、木が持つ香り、あたたかみや感触、高い吸放湿性といった優れた性能を生かした木造校舎は、潤いある学習・生活環境を実現する大きな効果が期待できます。また、校舎そのものが教材となり、木を生かした学習など、地域に目を向けた学習にもつながります。



屋根は周辺環境になじむ切妻屋根とし、外壁は手の届く1階部分を魚津市産の杉板下見張り、2階以上の部分を金属板葺きとしています。木の温もりを感じながらメンテナンスのしやすさにも配慮しています。新校舎がまちのシンボルになり、子どもたちの生き生きした姿がまちに映し出されるよう願いながらデザインされました。



## 落ち着いた教室環境と展開しやすいゾーニング

校舎はコンパクトでありながら、日照・採光・通風などの良好な環境を確保しやすい、南向きのH型プランとしました。普通教室ゾーンは南A棟に全室を南向き配置しました。1学年2クラスのクラスター形式とし、通過動線をなくすことで、静かで落ち着いた学習環境を確保しました。普通教室とワークスペースの間にある木製の引き戸は、スペースの拡張や遮音対策、暖房効率の向上に合わせて容易に開閉できます。特別教室ゾーンは各フロアの普通教室からアプローチしやすい、北棟2階に配置しました。動線の要となる校舎中央にはメディアセンターを配置し、調べ学習に活用しやすく、休み時間にもふらっと立ち寄りやすくしました。体と心のケアゾーンは職員室と連携の取りやすい北棟1階に配置し、保健室・通級指導室・特別支援教室をまとめることで運営をしやすくしました。管理ゾーンは来客アプローチへの視認性、グラウンドへのアクセスのしやすさに配慮しました。

